



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日
東・名

上場会社名 株式会社エムジーホーム 上場取引所
コード番号 8891 URL http://www.mghome.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)辻本 正人
問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)林 邦彦 (TEL)052(212)5110
四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,736	98.4	72	63.6	71	36.5	60	57.9
27年3月期第2四半期	1,379	—	44	—	52	—	38	—

(注)1 包括利益 28年3月期第2四半期 56百万円(50.7%) 27年3月期第2四半期 37百万円(—%)

2 前連結会計年度は連結初年度であり、当社の連結は逆取得であるため、株式会社アーキッシュギャラリーの第2四半期のみの上計上となります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	20.95	—
27年3月期第2四半期	17.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,501	1,523	33.8
27年3月期	4,396	1,472	33.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,523百万円 27年3月期 1,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,820	—	213	—	203	—	135	—	46.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社(社名)エムジー総合サービス株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	2,906,048株	27年3月期	2,906,048株
② 期末自己株式数	36,058株	27年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2,905,850株	27年3月期2Q	2,243,318株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①全般の業績概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方個人消費につきましては消費税増税以降先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,736百万円、営業利益72百万円、経常利益71百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円となりました。

②事業の種類別セグメントの業績概要

(分譲マンション事業)

マンション業界は、建築資材及び工事労務費の高止まり、プロジェクト用地の仕入価格の高騰の影響及び消費税増税の影響を受け、販売価格が高騰しているなか、一般消費者の購入マインドは大きな回復を見せず、厳しい環境が継続しております。

そのような環境下、前期より繰越した完成在庫及び9月並びに3月に完成する新築マンション2棟を販売し、当第2四半期末までに65戸を契約し、うち61戸の売上を計上いたしました。

この結果、売上高1,593百万円、セグメント利益（営業利益）は178百万円となっております。

(注文住宅事業)

注文住宅事業につきましては、新築8棟及び大規模改修等4件の引渡しを行っております。また、引渡し済み物件を含め、7件の工事について工事進行基準に基づき、売上を計上いたしました。

以上より、売上高970百万円、セグメント利益（営業利益）は46百万円となっております。

(賃貸事業)

賃貸住宅事業につきましては、当社にて17戸のマンション、株式会社アーキッシュギャラリーにおいて5戸のマンションと1棟の戸建及び借地1筆を事業に供しております。

その結果、売上高25百万円、セグメント利益（営業利益）は12百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間よりエムジー総合サービス株式会社が連結子会社化したことを踏まえ、以下の結果となっております。

①資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,662百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が282百万円、仕掛販売用不動産が209百万円増加し、販売用不動産が649百万円減少したことによります。

固定資産は1,834百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円増加いたしました。これは主に土地が43百万円、のれんが49百万円増加したことによります。

この結果、総資産は4,501百万円となり前連結会計年度末に比べ105百万円増加いたしました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,859百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円減少いたしました。これは主に買掛金が283百万円減少したことによります。

固定負債は、1,119百万円、前連結会計年度末に比べ303百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が276百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は2,978百万円となり前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,523百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は33.8%（前連結会計年度末は33.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、エムジー総合サービス株式会社を連結子会社化したことによる損益の影響を加味し、当初予想数値に対して、売上高220百万円、営業利益、経常利益が13百万円増加しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、エムジー総合サービス株式会社を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,116	876,000
売掛金	55,296	69,625
販売用不動産	1,340,632	690,776
仕掛販売用不動産	696,959	906,730
原材料及び貯蔵品	2,334	2,250
繰延税金資産	15,440	16,704
その他	38,298	100,236
流動資産合計	2,742,079	2,662,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	818,299	839,703
土地	655,200	698,486
その他	93,541	115,107
減価償却累計額	△362,398	△390,325
有形固定資産合計	1,204,642	1,262,972
無形固定資産		
のれん	300,400	349,902
その他	3,917	6,178
無形固定資産合計	304,317	356,081
投資その他の資産	139,853	215,535
固定資産合計	1,648,813	1,834,588
繰延資産	5,639	4,723
資産合計	4,396,532	4,501,635
負債の部		
流動負債		
買掛金	883,673	599,848
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
短期借入金	404,000	330,499
1年内返済予定の長期借入金	305,952	434,504
前受金	405,981	304,354
その他	95,428	176,037
流動負債合計	2,109,035	1,859,244
固定負債		
社債	65,000	58,000
長期借入金	670,778	947,506
繰延税金負債	7,095	6,788
退職給付に係る負債	54,831	52,961
その他	17,756	53,763
固定負債合計	815,461	1,119,019
負債合計	2,924,496	2,978,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,168,021	1,168,021
資本剰余金	165,791	165,791
利益剰余金	133,055	182,330
自己株式	—	△17,019
株主資本合計	1,466,869	1,499,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,166	4,447
非支配株主持分	—	19,798
純資産合計	1,472,035	1,523,371
負債純資産合計	4,396,532	4,501,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,379,616	2,736,360
売上原価	1,218,759	2,344,519
売上総利益	160,857	391,840
販売費及び一般管理費		
役員報酬	6,694	21,723
給料及び手当	42,501	101,271
その他の人件費	12,165	42,839
減価償却費	1,752	3,046
租税公課	2,556	12,686
広告宣伝費	557	40,213
賃借料	15,939	21,936
その他	34,508	75,404
販売費及び一般管理費合計	116,676	319,121
営業利益	44,180	72,718
営業外収益		
雑収入	—	8,347
受取配当金	2,048	1,158
その他	6,471	565
営業外収益合計	8,520	10,071
営業外費用		
支払利息	152	8,351
その他	126	2,532
営業外費用合計	279	10,883
経常利益	52,421	71,905
特別利益		
投資有価証券売却益	981	—
特別利益合計	981	—
税金等調整前四半期純利益	53,402	71,905
法人税、住民税及び事業税	3,921	10,178
法人税等調整額	11,220	828
法人税等合計	15,142	11,006
四半期純利益	38,260	60,899
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,260	60,899

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	38,260	60,899
その他有価証券評価差額金	△918	△4,447
その他の包括利益合計	△918	△4,447
四半期包括利益	37,342	56,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,342	56,452
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	—	1,372,472	7,144	1,379,616	—	1,379,616
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	—	1,372,472	7,144	1,379,616	—	1,379,616
セグメント利益	—	86,330	3,954	90,284	—	90,284

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	90,284
全社費用(注)	△46,104
四半期連結損益計算書の営業利益	44,180

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成26年8月1日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社アーキッシュギャラリー（以下、AGといいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。AGは、個人顧客向けの注文住宅や法人向けのストアクリエイイト事業を行っており、これらを「注文建築事業」とし、報告セグメントを従来の「分譲マンション事業」、「賃貸事業」の2区分から、「分譲マンション事業」、「賃貸事業」及び「注文建築事業」の3区分に変更しております。

なお、前述の株式交換は企業結合会計基準上の「逆取得」に該当するため、当第2四半期連結累計期間の業績は、AGの業績となり、セグメント報告も同様にAGのみとなっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,593,266	970,397	25,136	2,588,800	147,559	2,736,360
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,593,266	970,397	25,136	2,588,800	147,559	2,736,360
セグメント利益	178,681	46,950	12,851	238,483	1,175	239,658

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	238,483
「その他」の区分の利益	1,175
全社費用(注)	△166,939
四半期連結損益計算書の営業利益	72,718

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(企業結合に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

(エムジー総合サービス株式会社子会社化について)

当社は、平成27年8月1日を効力発生日として、エムジー総合サービス株式会社(以下「総合サービス」という)の発行済株式の80%を取得し、当社の子会社としました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

	名称	事業内容
取得企業	当社	分譲マンション事業及び賃貸事業
被取得企業	エムジー総合サービス株式会社	分譲マンション管理事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、昨年VTホールディングス株式会社(以下「VTという」)による第三者割当増資引受、及びVTの子会社である株式会社アーキッシュギャラリーとの株式交換を経て、VTグループの住宅関連事業を担い、新築マンションの分譲及び注文住宅事業を行う総合住宅事業として、ビジネスモデルの多角化に取り組んでおります。

マンション開発に加えて戸建住宅の設計・建築を行う事は、顧客層の拡大につながり、また先行投資型の事業リスクを分散する効果がありますが、住宅着工件数は景気に敏感な指標であり、一般的に住宅事業の受注動向は経済情勢に左右されやすい傾向にあります。そうした中で、マンション管理事業は、景気の波の影響を受けにくい安定型の事業であり、当社はこうした事業をグループ内に取り組むことで、連結収益の安定的な拡大に寄与できるものと考えました。

そこでこの度、当社の開発・販売したマンションを中心に管理事業を行ってきた総合サービスを子会社化し、マンション開発・販売に加えて、マンションの管理業務をグループ内に取り組むことで、安定した業績と今後の成長基盤の強化を目指すことといたしました。

(3) 企業結合日

平成27年8月1日(株式取得日)

平成27年9月30日(みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

当社を親会社、総合サービスを子会社とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

本株式取得に伴う商号の変更はありません。

2. 四半期累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成27年9月30日をみなし取得日としており、被取得企業の決算日が平成27年9月30日であるため、被取得企業の業績は当第2四半期会計年度における連結四半期損益計算書には含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	136,000千円
取得に直接要した支出額	1,000千円
取得原価	137,000千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却期間

(1) 発生したのれん金額

57百万円

(2) 発生原因

主として今後の事業展開により期待される超過収益力です。

(3) 償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却